

ICTを活用した地歴公民科遠隔授業の実践

一北海道高等学校遠隔授業配信センターでの取り組みから一

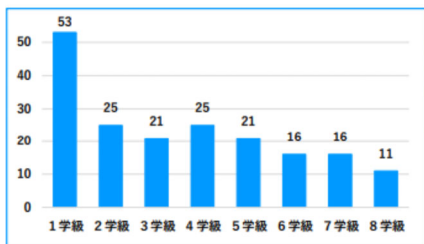
北海道高等学校遠隔授業配信センター 佐藤豊記

■ 1. 北海道高等学校遠隔授業配信センターとは



○2021年4月北海道教育委員会新設した組織（通称T-base）

札幌北区屯田（とんでん）にある北海道有朋高等学校をベースとして国語、数学、英語、地歴、公民、理科、情報、書道、音楽の授業をライブ配信、対象受信校29校、延べ181単位・受講生徒は延べ685人。すべての配信科目において現地に配信センターの教員が赴いて2時間の対面授業を実施



【令和3年度 道立高等学校（全日制）第1学年の学年級別学校数】

北海道では中学校卒業生数の減少等により、高等学校の小規模化が進行。1学年が3クラスまでの学校で、道立学校の過半数(52.7%)。

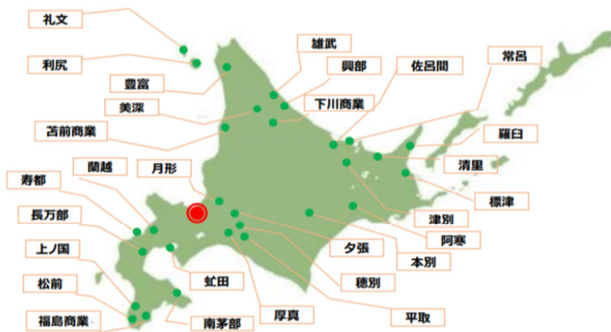
■ 北海道の現状

- ・小規模化した高校では、教員数が少なくなり、大学進学等の多様な進路希望に対応した教科・科目の開設が困難
- ・大学進学を目指す中学生が住み慣れた地域を離れ、都市部の高校へ進学

■ T-baseによる遠隔授業

- 専任教員が授業を配信
- 配信センターから複数校への同時配信（合同授業）を通年で実施
- 大学進学など、同じ目標をもった仲間との切磋琢磨した学びが可能
- 最新の進路情報を踏まえた進路指導の支援
- 夏季、冬季の進学講習

北海道高等学校遠隔授業配信センター 令和4年度 受信校一覧(29校)



授業配信方法) IPELA(SONYテレビ会議会議システム)



配信方法例① 数学A

配信方法例①は、ビデオ会議システム (IPELA) を活用した遠隔授業です。ここに掲載している画像は、ホワイトボードを使用して問題の解法を説明している様子です。

授業者 (配信者) はワイヤレスマイクやイヤホンを使用して音声面での利便性を確保するとともに、ビデオ会議システム (IPELA) のほかに、Google Classroom を併用して、課題を提示したり、課題提出を行わせたりという工夫も行っていきます。



受信側に表示されている画面 (赤の四角枠)



配信側 (使用機器等の紹介含む) の様子

配信方法例③ 書道I

配信方法例③は、ビデオ会議システム (IPELA) と Web会議システム (Google Meet) を併用した遠隔授業です。

各生徒の手元には情報端末があり、Google Meet でつながっています。Google スライドの内容が共有されるとともに、生徒の手元を確認できるようになっています。

また、書く姿勢が大切なことから、実物投影機で上から見た様子を配信するとともに、横から見た教員の様子を受信側に配信しています。



受信側に表示されている画面 (赤の四角枠)

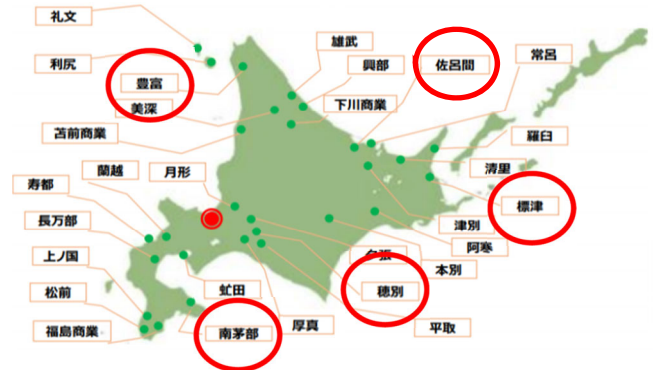


配信側 (使用機器等の紹介含む) の様子

Meetで使用している個別ブース



**■2.地歴公民科での実践
(1) 今年度の担当配信校**



代ゼミ公民科講師 畠山創氏とのSDGsの連携授業



南茅部高校
3年 政治・経済
豊富高校
2年 現代社会



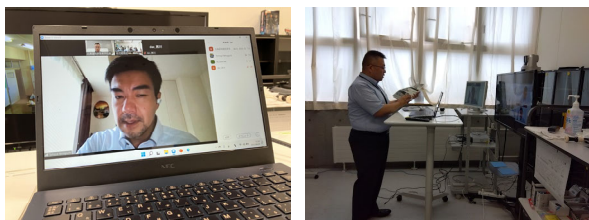
財務省との財政にかかわる連携授業



南茅部高校
3年 政治・経済
豊富高校
2年 現代社会

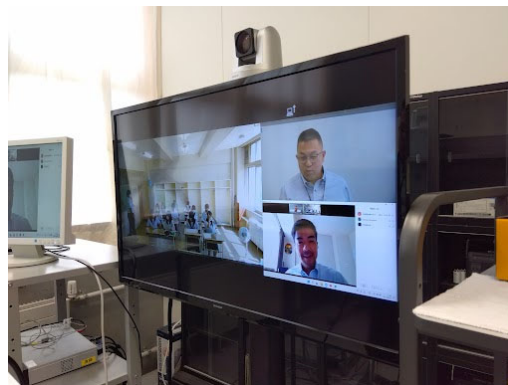


日本政府国連代表部の山口氏を招いての連携授業



→ZOOMで現地と結び+IPELAの仕組みを活用して授業配信
佐呂間高等学校(2年・地理A)

日本政府国連代表部の山口氏を招いての連携授業



日本政府国連代表部の山口氏を招いての連携授業

事前に国連についての概略の学習
生徒たちから疑問や質問を募集(GoogleClassroom活用)
↓
日本政府国連代表部の山口さんへ送付
↓
質問に答えてもらう形式で講演
↓
その後、生徒たちから直接質問
↓
最後に生徒たちへメッセージ
↓
GoogleClassroomを活用して感想回収、山口さんに送付

Google Classroomの画面→生徒同士でも感想を共有



生徒たちの感想

- ①難しい話もありましたが、聞いていてとても楽しかったです。今の国際情勢や問題に対して私達が何をできるかなど、たくさん考えることができました。改めて国に関係する外交官などの仕事は大変だと思ったけどカッコいいなと感じました。今日は色々な話が聞けて本当に楽しかったです、ありがとうございました。
- ②今回貴重な時間を頂いて、ありがとうございました。授業では、色々な国の情勢や、国連の仕事についてなど普段では細かく聞けないことをきけてよかったです。他にも外交交渉の交渉内容などを聞いた際にとてもわかりやすく答えてくれてすごく良かったです。会議が長くて辛そうだなと思いました。全体を通して国連の仕事はすごく大変なんだなと思いました。お仕事頑張ってください！今回は本当にありがとうございました。

生徒たちの感想

- ③今回は外交官の方の話を聞くことができ、とてもびっくりしたこともあったし、ためになる話もいっぱいしてくださり、ありがとうございました。一日のスケジュールでは国連で一日を知ってとっても忙しい仕事だと思ったし、日本という国を背負って他国に行って他の国の人と話し合いをしたりしていることを実感しました。でも、色々な人種の人がいる色々な文化に触れられるので、楽しいお仕事なのではと思いました。
- ④すごい方のお話を聞くことができたので、ものすごく貴重な体験になりました。国連と聞くとお堅いイメージがありましたが、全然そんなことがなく、フレンドリーな感じがとても素敵でした。色々な国の人と関わったりするのは本当に大変だなと思いました。多様性について、話をさせていただきましたが本当に為になりました。今後の進路活動においても多様性についてよく考え、将来に活かしたいなと思います！

■3.今後の取り組み予定

(1) 弁護士との授業連携

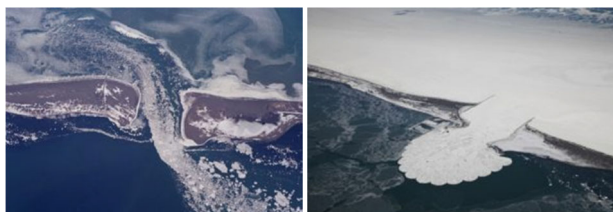
18歳成人や法教育にかかわる内容について、
弁護士をゲストに迎えての生徒と対話的な授業

(2) 地域との連携

地域の教育資源を有効に活用し、社会資本を含めた地域の財産についての理解を深め、今後の課題の解決に向けた学びを行うなど、地域に重点を置いた授業

→佐呂間高校: サロマ湖の養殖産業を流氷から守るアイスブームにかかわる授業(地理A)

海洋構造物としてはサロマ湖が世界初。アイスブームは湖口の内側に円弧状に支柱を配し、その支柱間に連ねたフロートで流氷の侵入を予防するもの。総長は1,430m、フロートは長さ3m、直径1mの円柱形で、総数は約370個。アイスブーム導入後(平成10年完成)養殖施設被害なし



■4.成果と課題

(1) 成果

地理的な制約を超えて、一定の質を確保しながら生徒たちにライブで授業を提供することが可能。また、外部講師などを札幌に招いて同日に複数校へ講演してもらうこと、東京やニューヨークからでもZOOMなど活用すれば、外部講師も地理的制約なし。意見などの集約もGoogleClassroomで時間的制約を超えてまとめることが可能。

(2) 課題

授業が知識の伝達ばかりではなく、学びの共同体的な空間を提供すると考えれば、授業以外の情報把握もしたいが限界がある。話し合いの結果はわかるが途中経過把握は難しい。SONY会議システムは生産・販売終了。外部講師連携授業については交通費等の予算措置は一切なく、私の個人的な人間関係と講演者の善意に頼っている。通信ネットワークの不安定さ。

ご清聴ありがとうございました。